

## 授業改善推進プラン

文京区立茗台中学校  
( 神 岬 )

教科名 ( 技術 ) 指導者名 ( )

生徒の状況・課題の分析

(第1学年)

授業、実習への興味関心が高く、意欲的に取り組んでいる生徒が多い。自らの生活を振り返り、生活の中の技術を発見することを楽しむことができている。グループワークでも協力し、解決策を見出そうとしている。与えられた課題の解決策だけではなく、自分や班の課題を発見し、工夫する力を身につけさせる。

(第2学年)

多くの生徒が授業内容への関心が強く、意欲的に学習している。電気は目に見えないので想像しづらく、苦手意識をもつ生徒もいる。自身の生活に深く関わっていることを実感させ、自身の問題として考え、課題を発見し、生活を工夫する力を身につけさせる。

(第3学年)

授業、実習に意欲的に取り組んでいる生徒が多い。自身の考えが固まっており、閃きが少ない生徒が多いので、グループワークや話し合いの場を多めにし、自身だけでは想像できない閃きを得る機会を増やし、生活をよりよくしようと考え、創造する力を身につけさせる。

教科の目指す育てたい力

- ・生活に必要な知識・技能を習得し、生活に応用できる思考・判断・表現力
- ・生活から発見し、工夫・創造する力

授業改善推進プラン（課題解決のための具体策）

(第1学年)

・自らの生活を振り返り、自身や周囲の技術を発見し、より良い工夫をすることができるように、実習を行いながら考え、互いの考えを共有する場を作る。また、実習や共有した考えを記録できるようにワークシートを作成する。

(第2学年)

・自身の生活の課題を発見し、解決策やより良い工夫を生活に取り入れられるように、実習を行いながら考え、互いの考えを共有する場を作る。成果を記録できるワークシートを作成し、自身の考えと技能の変化を確認できるようにする。

(第3学年)

・自身や周囲、自分が生活する社会の課題を発見し、解決策やより良い工夫を取り入れられるように、実習や試行を繰り返しながら考え、グループの考えを共有する場を作る。成果を記録できるワークシートを作成し、自身の考えと技能の変化を確認できるようにする。